

『僕も』 作：ポチ子

『僕も』 作：ポチ子

僕も死のうと思ったことがある。

眉間に皺を寄せて、

昔を思い出している風に見せている。

辛いこともあった。

挫折したこともあった。

その後続く言葉はない。

多分、大したエピソードがないからだ。

死のうとしているあの人。

客観的に見て、

あなたより不幸だと思う。

仮に本当に、

あなたが死にたくなっただことがあるなら、

あの人は死んでしまっても問題ない。

あなたの苦しみを知ったときに、

自分の苦しみの重さを知ってしまう。

あなたの励ましが、

あの人が死んでもいい理由を作ったのだ。